

「症例報告」投稿ガイドライン

1. 症例は動的処置終了後2年以上経過し、初診時、動的処置終了時、最終資料採得時の資料を有するものとする。
2. 症例報告の雑誌掲載に対する患者の同意書を添付すること。
3. 雑誌掲載時の刷り上がりで4～5ページとすること。
4. 以下の項目について記載されていること。

- 1) **タイトル**：報告の内容を的確に表していること。

氏名：共著者は3名以内とする。

所属：

キーワード：3～5個とする。

- 2) **「はじめに」** (400字以内)

症例選択の理由を記す。

- 3) **「症例概要」** (4)と合わせ400～500字)

主訴、特徴的所見を記す。

- 4) **「診断・治療目標・治療計画」**

「症例概要」から抽出される症例の特徴、問題点をまとめ、診断・治療目標・治療計画を記す。

- 5) **「治療経過** (動的処置期間 年 ヲ月・保定期間 年 ヲ月)」 (300～400字)

治療目標に対応した治療経過を記す。

- 6) **「結果・考察」** (400～600字)

治療目標をふまえて治療経過を記す。

- 7) **「参考文献」**

3編以内とし、本文中にルビはふらない。

- 8) **「図表」**

本文末にまとめる。

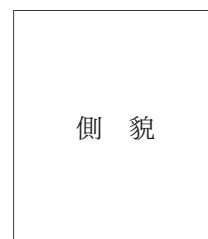
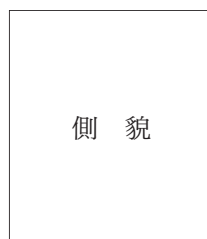
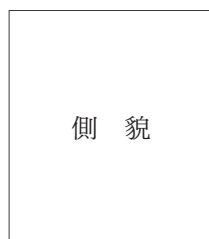
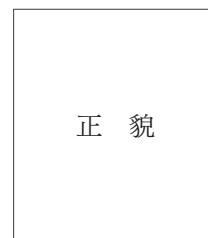
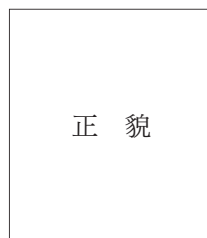
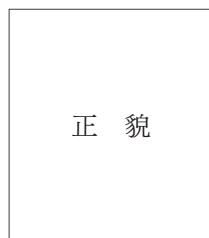
以下の図表についての案内は本症例報告の minimum requirement (最低限必要数) である。症例によって特に必要を認める場合は追加する。各図表については簡単な説明を加える。

- (1) 顔面写真

初 診 時

動的処置終了時

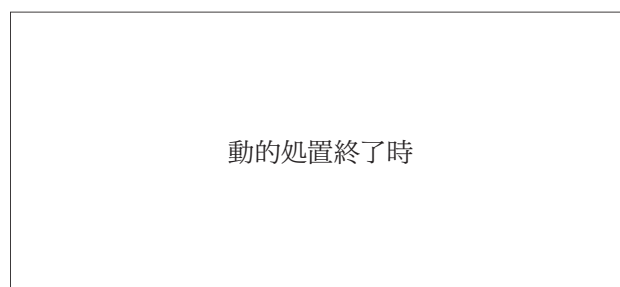
最終資料採得時



(2) 口腔内写真（石膏模型写真でも可）

初 診 時	動的処置終了時	最終資料採得時
正 面	正 面	正 面
左側面	左側面	左側面
右側面	右側面	右側面
上顎咬合面	上顎咬合面	上顎咬合面
下顎咬合面	下顎咬合面	下顎咬合面

(3) パノラマX線写真



(4) 頭部X線規格写真 (cephalogram) 重ね合わせ

全体 重ね合わせ	上顎 重ね合わせ
	下顎 重ね合わせ

* 初診時を実線，動的処置終了時を破線，最終資料採得時を一点破線で表示し，重ね合わせる。
重ね合わせ法を簡単に記す。

(5) 頭部X線規格写真分析 (表)：この他に症例の説明のために必要な項目があれば追加する。

計測項目	初 診 時 (歳 ヲ月)	動的処置終了時 (歳 ヲ月)	最終資料採得時 (歳 ヲ月)
SNA			
SNB			
ANB			
FMA			
IMPA			
FMIA			
U1-SN			